

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)

【公開番号】特開 2019-121684 (P2019-121684A)
 【公開日】令和 1 年 7 月 22 日 (2019.7.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-029
 【出願番号】特願 2018-470 (P2018-470)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 33/00 (2010.01)

H 0 5 B 47/00 (2020.01)

G 0 5 F 1/56 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 33/00 J

H 0 5 B 37/02 G

G 0 5 F 1/56 3 1 0 S

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 17 日 (2020.7.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

L E D 電圧生成部と L E D 電圧制御部と L E D 電流制御部と記憶部とを備える L E D 輝度制御回路であって、

前記 L E D 電圧生成部は、前記 L E D 電圧制御部から入力された L E D 電圧指令値に基づいて L E D に電圧を印加し、

前記 L E D 電圧制御部は、前記 L E D のカソード電位に基づいて前記 L E D 電圧指令値を決定し、

前記記憶部は、輝度と目標 L E D 電圧指令値との対応関係を予め定めたルックアップテーブルを記憶し、

前記 L E D 電流制御部は、所望の輝度と、これに対応する前記ルックアップテーブル内の目標 L E D 電圧指令値と、前記 L E D 電圧指令値とに基づいて前記 L E D に流す電流値を制御する、

L E D 輝度制御回路。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の L E D 輝度制御回路であって、

前記 L E D 電圧制御部は、前記電流値に所定の演算をして得られた値を前記カソード電位の目標値として設定し、前記目標値と前記カソード電位の実測値との比較結果に基づいて前記 L E D 電圧指令値を決定する、

L E D 輝度制御回路。

【請求項 3】

L E D を備える装置であって、

請求項 1 又は請求項 2 に記載の L E D 輝度制御回路を更に備え、

前記 L E D の輝度が、前記 L E D 輝度制御回路によって制御される、

装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の装置であって、

前記装置は、照明装置、表示装置、画像処理装置、又は医用画像装置である、装置。

【請求項 5】

L E D 輝度制御方法であって、

L E D に電圧を印加する電源のコントローラから当該電源に入力された L E D 電圧指令値に基づいて、前記 L E D に流す電流値を制御し、

前記 L E D 電圧指令値は、カソード電位に基づいて決定され、

輝度と前記 L E D 電圧指令値との対応関係を予め定めたルックアップテーブルを記憶し

、

所望の輝度と、これに対応する前記ルックアップテーブル内の L E D 電圧指令値と、実際の前記 L E D 電圧指令値とに基づいて前記電流値を制御する、

L E D 輝度制御方法。

【請求項 6】

コンピュータに、所定の機能を実現させる L E D 輝度制御プログラムであって、

前記所定の機能では、L E D に電圧を印加する電源のコントローラから当該電源に入力された L E D 電圧指令値に基づいて、前記 L E D に流す電流値が制御され、

前記 L E D 電圧指令値は、カソード電位に基づいて決定され、

輝度と前記 L E D 電圧指令値との対応関係を予め定めたルックアップテーブルを記憶し

、

所望の輝度と、これに対応する前記ルックアップテーブル内の L E D 電圧指令値と、実際の前記 L E D 電圧指令値とに基づいて前記電流値を制御する、

L E D 輝度制御プログラム。